

東洋一の運動競技場 (本誌記者)

明治神宮外苑に於ける

競技場概要

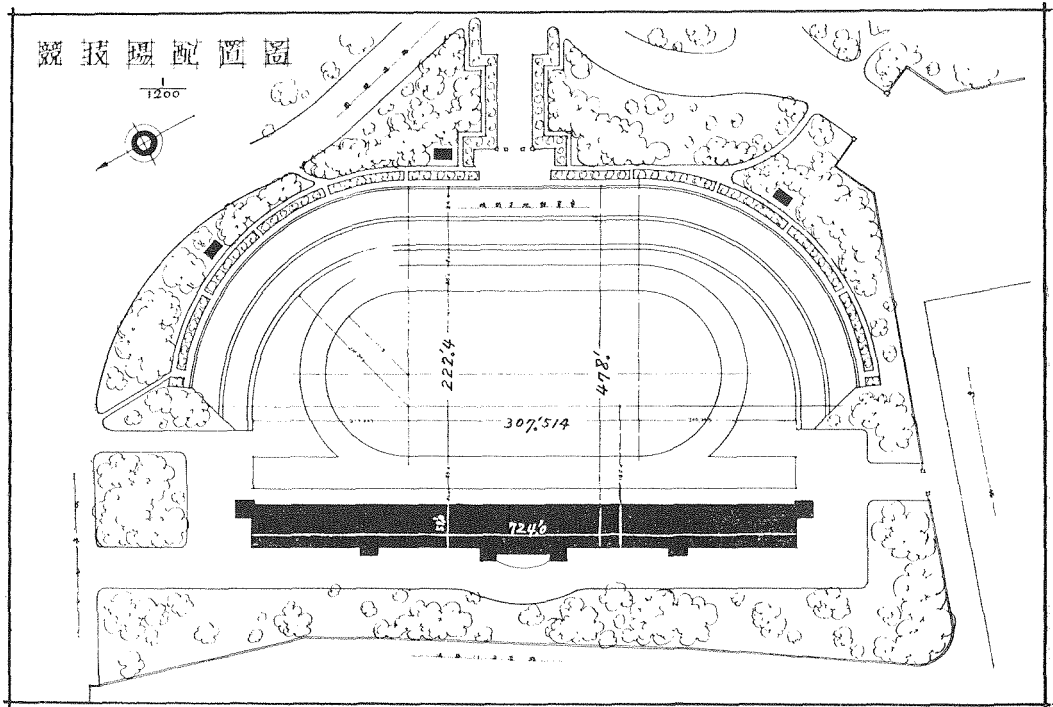
一、規 模	
敷地面積	約一〇、〇〇〇坪
廣場面積	約 六、三〇〇坪
トラック回週	四〇〇米
フィールド面積	約 二、九八〇坪
芝地觀覽席面積	約 二、七七〇坪
スタンド觀覽席面積	約 九四一坪
二、觀覽席建物 鐵筋コンクリート造	
建坪	一、二三七坪
東西 一〇間	南北 一二八間
觀覽席階段	二六段

三、收容人員	
スタンド觀覽席	約一五、〇〇〇人
芝生觀覽席	約五〇、〇〇〇人
合 計	約六五、〇〇〇人

四、競技種類	
(イ)競 走 (ロ) ハードルレース	
(ハ)跳躍技 (ニ)投盤技 (ホ)投鎗技	
(ヘ)混成競技 (ト)ヴァレーボール	
(チ)バスケットボール (リ)フットボ-ル等	

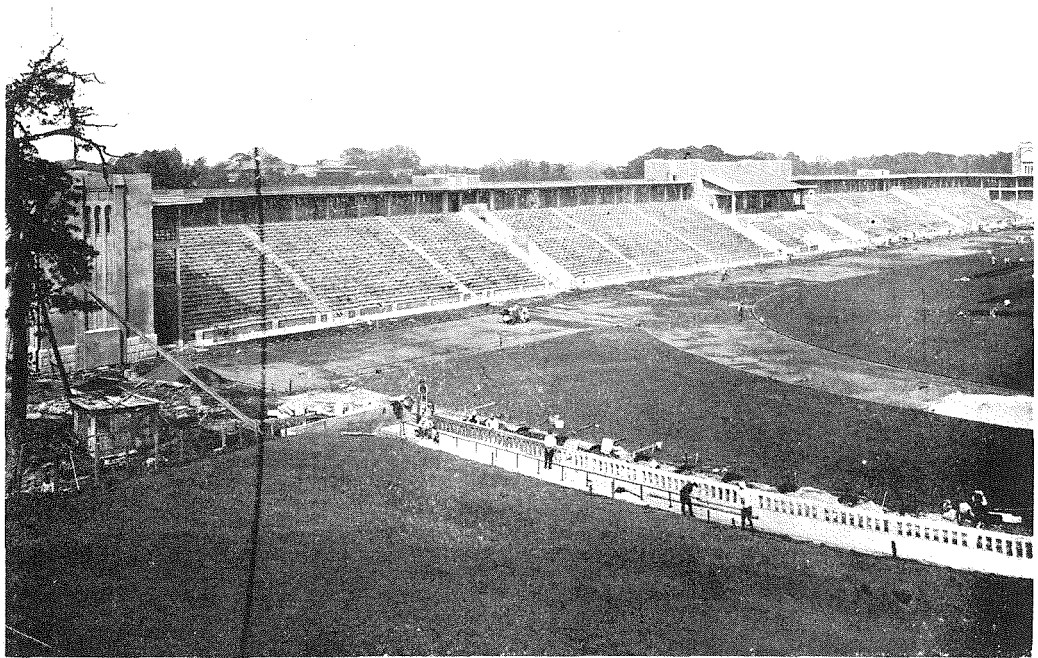
五、工事費總額	一、〇五三、〇〇〇圓
着 手	大正八年十二月
竣 工	大正十三年十月

THE MEIJI SHRINE STADIUM FOR THE FAR EASTERN OLYMPIC GAMES.



(1) 神宮競技場平面配置圖

(1) Plan of Track, Field and Pavillion.



(3) 神宮競技場全景

(3) General View of Olympic Grounds.

總 說

明治神宮外苑競技場は外苑に於ける主要建設物の一にして、明治天皇陛下が尙武の風を御奨勵あらせられたる御趣旨に因み、汎く一般公衆の體育競技の用に供するために建設せるものなり。外苑西北隅の位置に約一萬坪の敷地を充て、其の中央にランニングトラック及フィールドより成る運動場を設け、東南北の三面に芝生傾斜地の觀覽席を西側に鐵筋コンクリート建ての大スタンドを配置す。

ト ラ ッ ク

競走路は回周四〇〇米、幅員一〇米の楕圓形トラックとし、西側周邊は特に之を延長して二〇〇米の直線トラックとす。路盤の構造は特に各方面體育専門家の意見を學理に参照して設計したるものにして、路面約一尺五寸の處より割栗石、砂利、鑛滓石炭殻混合物の

順を以て充填し、最上層には火山砂粘土及砂の混合物を敷き均し、以て雨水の滲透を充分ならしむるご共に路面に適當の弾力を與ふるごに努めたり。

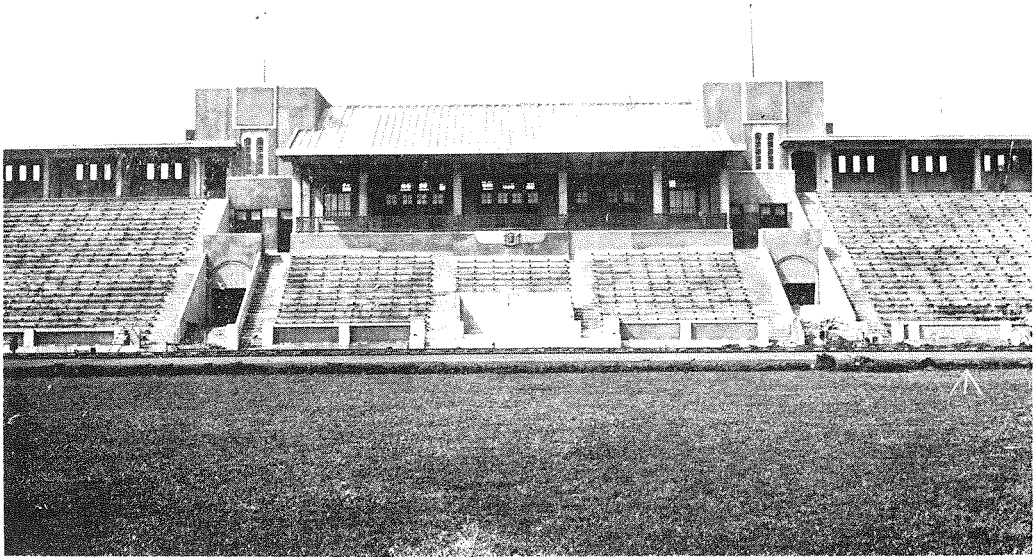
フ イ ー ル ド

競走路によりて圍まれたる中庭約三千坪は之をフィールド競技場に充て、一面の芝生地をなし其の中央部にフットボール、ホッケー等の團體競技場を、南北西側に跳躍技、投擲技等の各種競技場を配置したり、即ち中庭に於て行ふごを得べき競技種目の概要左の如し。

高飛、幅飛、棒高飛、擲彈、投槍、投盤、ヴァレーボール、バスケツトボール、フットボール、ホッケー等

觀 覽 席

(東側觀覽席)運動場の外圍東、南、北の三面



(4) 神宮競技場西側スタンド中央部

(4) Middle Part of West Stand.

には幅八尺の餘地及幅十二尺の通路を隔て、競走路に沿ひ運動場に直而する半圓形の芝生傾斜地を造成して觀覽席とす。而して其の芝生地とせしたるは綠草の美觀を保つと共に可成多數の觀覽者を收容せんが爲なり總面積二千七百七十餘坪にして、僅に五萬人以上の觀衆を容るゝに足る。

尙芝生傾斜地の上部には全周櫻樹の植樹帯を造りて一層の美觀を添へ其の後方に入口、便所、水飲所等を配置せり。(西側觀覽席)競技場の西側には直線競走路に沿ひ南北約百二十八間東西約十間の大スタンドを建設す。明治神宮造營局の設計に成れる近世式鐵筋コンクリート造の建築にして外部は腰石石張、上部モルタル塗り(一部タイル張り)とす。

東方運動場に面して中央に特別觀覽席を設け之に特別室同附屬室及便所を附屬せしめ其の前方及左右は各要所に休憩室及び便所を置く外總て一般觀覽席とせし二十六のコンクリー

ト階段上に幅六寸の木製腰掛けを取付け約一萬五千の座席を設く。尙ほ觀覽席の中央最前方には賞品授與壇を設け其の左右に新聞記者席を配置す。

觀覽席建物は軒高三七尺、南北兩端に塔を設け、其の内部を階段室に利用すると共に北塔の上部に大時計を設備して利便と偉觀とを増せり。スタンドの下階には各種の室を設けて一般の利用に供す、即ち中央部に玄關、事務室(二室)階段室(二室)を設け左右兩翼には一般觀覽者入口(六ヶ所)階段室(六ヶ所)選手室(六室)新聞記者室、浴室、大食堂、調理室便所、湯沸所、物品販賣所、物置等を配置せり、就中選手室には特に更衣戸棚及長椅子を設けて選手の利便に供し、浴室は男女用二室に各々浴槽及シャワーを備へ大食堂は外部にも入口を設けて常時は一般公衆の利用に供するこゝを得。便所は水洗式とし汚水は淨化装置により處理するものとす。